



TAKASAGO Thermal Engineering Co., Ltd.



高砂熱学工業株式会社

第138期 中間報告書

2017年4月1日から2017年9月30日まで | 証券コード：1969

Contents

トップメッセージ	1
TOPICS	5
連結財務諸表	7
会社情報	9
株式情報	10



ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り、心から厚く御礼申し上げます。
ここに、当社第138期第2四半期累計期間(2017年4月1日から2017年9月30日まで)の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間は、国内景気は緩やかな回復基調にあり、当初計画を上回る成果をあげることができました。これも、ひとえに株主の皆様のご理解とご支援の賜物と感謝申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の発展にご期待いただき、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長 社長執行役員 **大内 厚**

Q 当第2四半期までの市場環境についてお聞かせください。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内の各種政策効果を背景に、企業収益や雇用・所得環境は改善し、設備投資は引き続き持ち直しの動きが見られるなど、国内景気は緩やかな回復基調が継続しました。

建設業界および当社関連の空調業界におきましては、都市部の再開発案件が本格化するなど、公共投資および民間設備投資ともに建設需要は堅調に推移しました。

Q 当第2四半期の業績についてお聞かせください。

当社は、本年度を初年度とする新中期経営計画に

業績のポイント

- ① 受注高は、採算性を重視した営業活動で前年を下回ったものの、期初計画値は達成
- ② 売上高は、首都圏の大型再開発物件を中心に、工事が順調に進捗し増収
- ③ 各利益は、第2四半期連結累計期間において創業以来の最高益を計上

基づき、グループの総力を挙げて利益重視の徹底ならびに生産性向上に取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

なお、本中間報告書に記載の金額および株式数は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

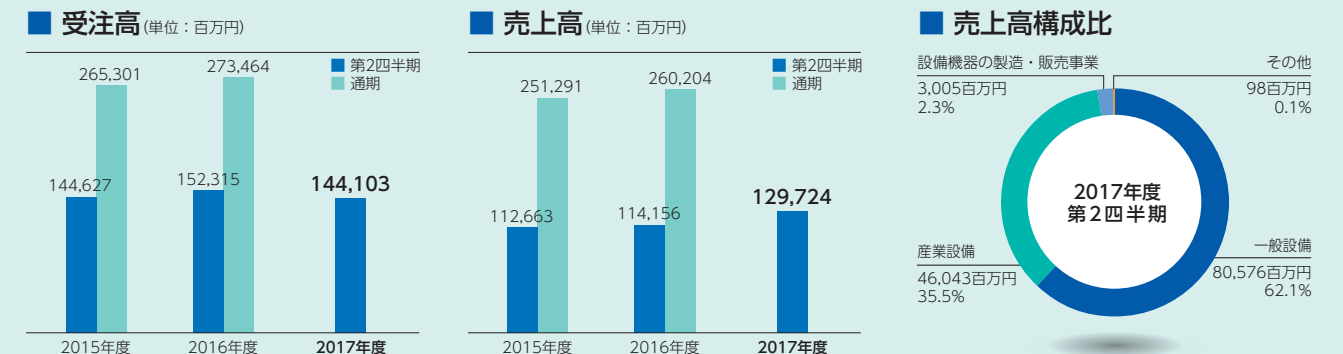
社是

人の和と創意で社会に貢献

経営理念

1. 最高の品質創りを重点に社業の発展を図り社会に奉仕する
2. 全員の創意を発揮し顧客のニーズに対応した特色ある技術を開発する
3. 人材育成と人間尊重を基本として人の和と品性を高揚する

連結財務ハイライト



受注高

当第2四半期連結累計期間の受注高は、前年同四半期連結累計期間（以下「前年同四半期」といいます。）を5.4%下回る1,441億円となりました。

一般設備は前年同四半期を1.7%上回る922億円、産業設備は前年のマレーシアにおける大型物件受注の反動などから前年同四半期を15.9%下回る480億円となった結果、設備工事業は前年同四半期を5.1%下回る1,402億円となりました。設備機器の製造・販売事業等は、前年同期比を14.8%下回る38億円となりました。

その構成比は、一般設備が64.0%、産業設備が33.3%、設備機器の製造・販売事業等が2.7%であり、海外工事が全体に占める割合は11.6%であります。

売上高

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期を13.6%上回る1,297億円となりました。

一般設備は前年同四半期を12.0%上回る805億円、産業設備は前年同四半期を19.5%上回る460億円となった結果、設備工事業は前年同四半期を14.6%上回る1,266億円となりました。設備機器の製造・販売事業等は、前年同期比を14.9%下回る31億円となりました。

その構成比は、一般設備が62.1%、産業設備が35.5%、設備機器の製造・販売事業等が2.4%であり、海外工事が全体に占める割合は16.2%であります。

利益

当第2四半期連結累計期間の利益は、国内における良好な事業環境の継続に加えて、収益拡大への取

り組みが成果をあげていることなどにより、営業利益は前年同四半期を98.8%上回る68億円、経常利益は前年同四半期を89.9%上回る73億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期を89.5%上回る45億円となりました。

繰越高

当第2四半期連結会計期間末の繰越高は、前年同四半期連結会計期間末を4.1%下回る2,458億円となりました。



通期の見通しについて
お聞かせください。

建設業界および当社関連の空調業界におきましては、企業収益の回復による設備投資の持ち直し等によ

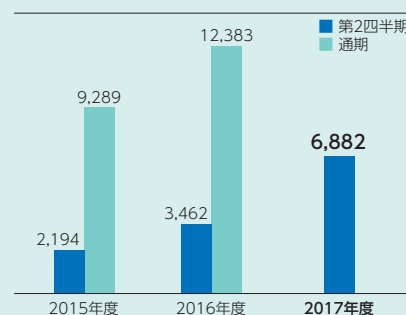
り、良好な事業環境が続くものと思われます。

当第1および第2四半期連結累計期間では堅調な業績をあげてまいりましたが、一方で下期につきましては、2020年に向けて本格的な繁忙期を迎え、労務費の上昇が見込まれるなどの要因もあることから、2018年3月期通期の連結業績の見通しは、本年5月12日付決算短信において発表した予想数値を継続しております。

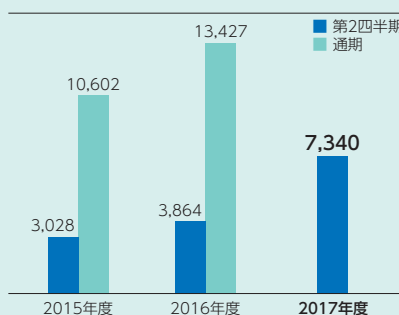
2018年3月期業績予想(通期)

売上高	2,620億円
営業利益	110億円
経常利益	120億円
親会社株主に帰属する当期純利益	78億円
受注高	2,500億円
繰越高	2,195億円

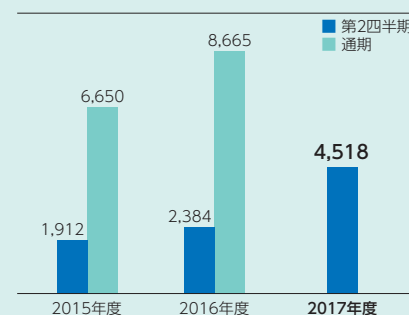
営業利益 (単位：百万円)



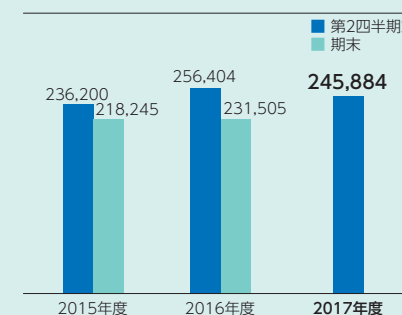
経常利益 (単位：百万円)



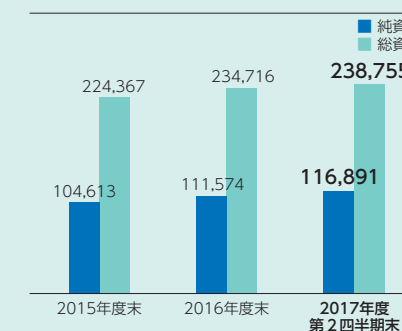
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位：百万円)



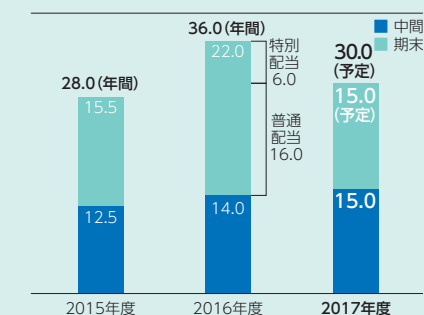
繰越高 (単位：百万円)



総資産・純資産 (単位：百万円)



1株当たり配当金 (単位：円)



新規事業創造を目指すプログラム 「高砂熱学工業アクセラレータ "just move on!"」を開始

本年度から新設された事業革新本部によるオープン・イノベーション推進の一環として、既存の空調設備工事の枠を超えた新たな価値づくりの実現を目指し、スタートアップ※の



アイデアや技術と高砂熱学工業グループの強みを掛け合わせて、新たなビジネスやサービスを創出するアクセラレータプログラム「高砂熱学工業アクセラレータ "just move on!"」を始動しました。

本プログラムは、スタートアップのアイデア・技術・実行力と当社グループのリソースを掛け合わせることで、豊かで心地よい生活環境を実現する革新的な事業を創造し、成長させ、社会に定着させることを目的としています。

複数回の選考を経て選抜されたスタートアップは2018年4月以降に予定されている事業化プロジェクトに参加し、業務・資本提携も視野に入れ、ともに新規事業創造を目指します。

※ スタートアップ… 新しいアイデアや技術で成長を目指す個人・チーム・企業

ひとの環境をつくりながら、
地球の環境もつくっていく。
高砂熱学工業アクセラレータ
“just move on!”

Powered by LEAP OVER

新入社員研修を刷新 富士教育訓練センターで 「新入社員技術実習」を実施

本年度から新設されたタカサゴ・アカデミーのもと、現場施工に対する理解促進と研修内容の均一化を図るため、全国建設産業教育訓練協会が運営する富士教育訓練センター（静岡県富士宮市）を活用した「新入社員技術実習」を実施しました。現場研修を終えた新入社員96名を対象に、実務訓練を取り入れて行った本研修は当社初の試みであり、新入社員一人一人に高砂熱学工業の社員としての自覚を促すことで、早期に現場に貢献できる社員を育てます。

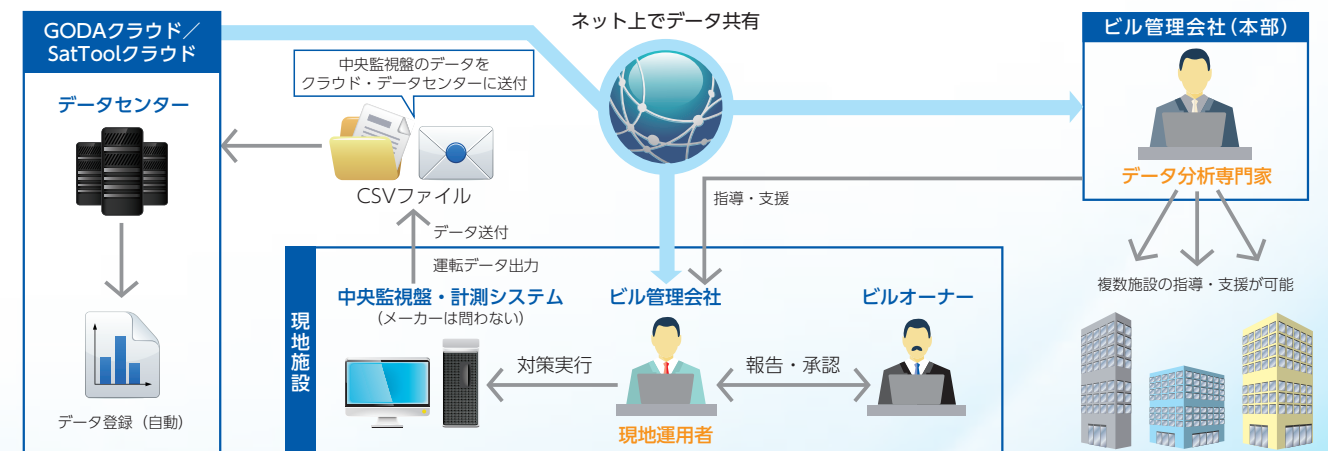


クラウド型エネルギー分析ツール「GODA®クラウド/SatToolクラウド」が 「2017年度グッドデザイン賞」を受賞

パナソニック株式会社と共同開発を行ったクラウド型エネルギー分析ツール「GODA®クラウド/SatToolクラウド」※が2017年度のグッドデザイン賞を共同受賞しました。

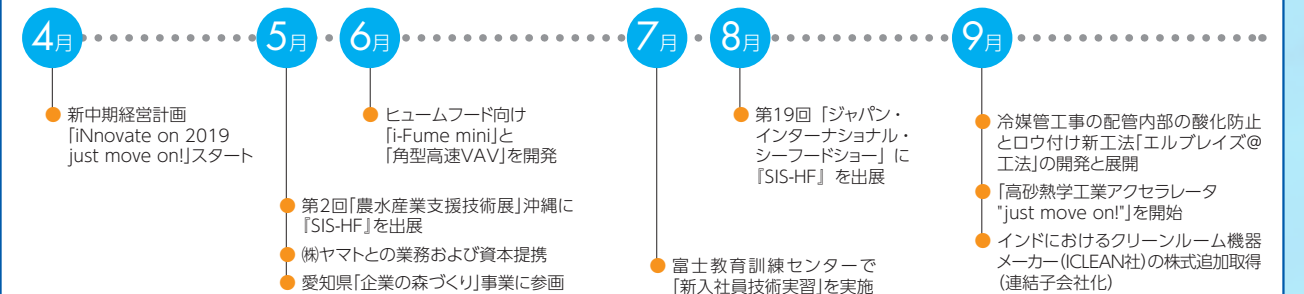
GODA®クラウドは、施設のエネルギー使用量や空調設備

※本ツールは共同受賞のため、GODA®クラウドは高砂熱学工業の商品名、SatToolクラウドはパナソニック株式会社の商品名を併記しています。

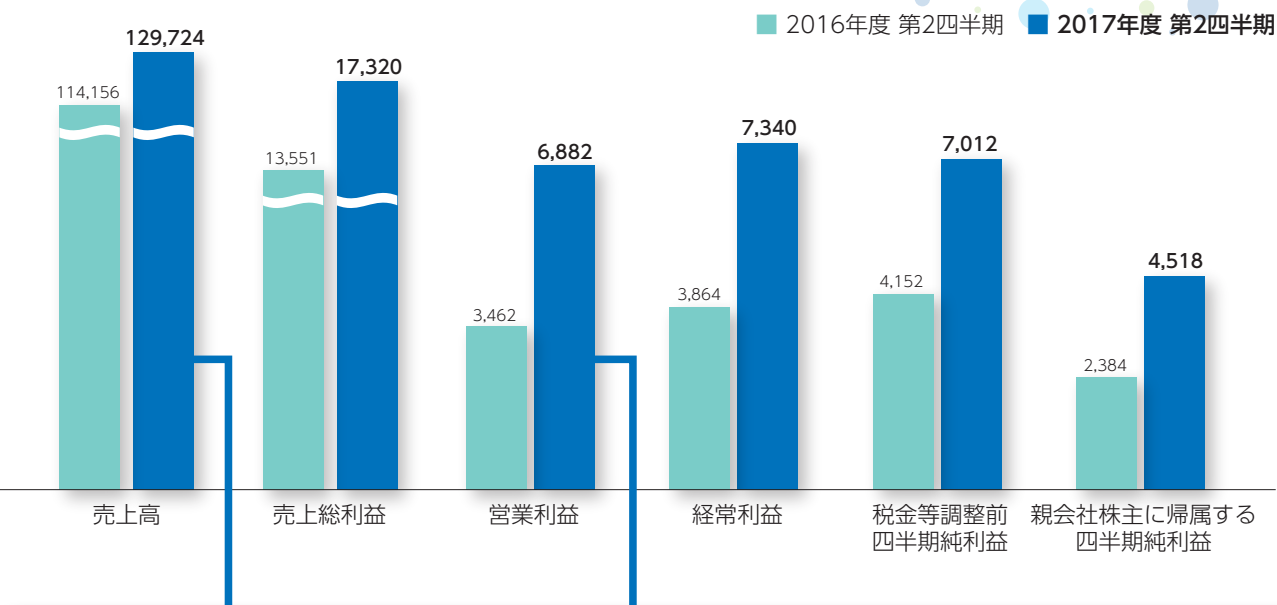


2018年3月期第2四半期の主な出来事

2017年



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



セグメント別概況



セグメントごとの業績は次のとおりであります(セグメントごとの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しております)。

■ 設備工事業業

売上高は前年同四半期を14.6%上回る1,266億24百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同四半期を101.6%上回る67億59百万円となりました。

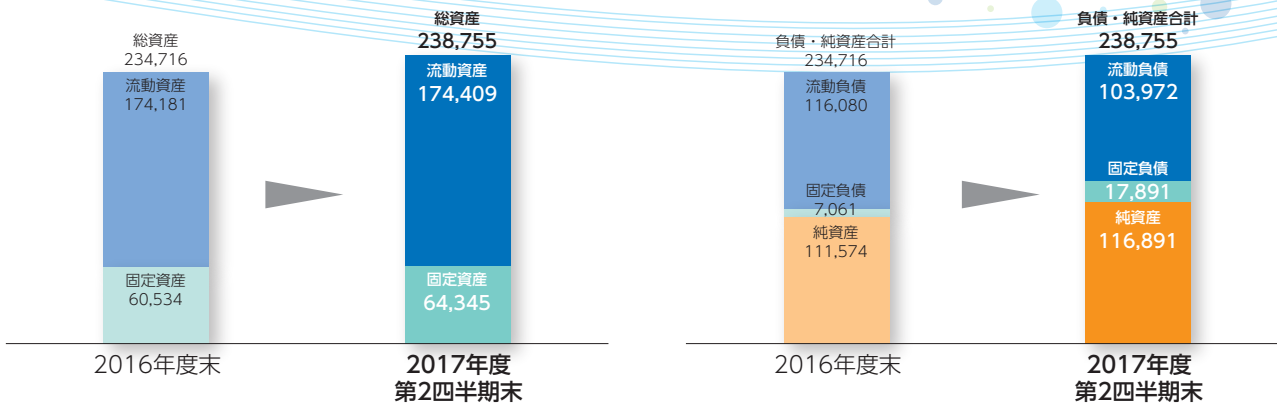
■ 設備機器の製造・販売事業

売上高は前年同四半期を13.7%下回る36億91百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同四半期を7.1%下回る64百万円となりました。

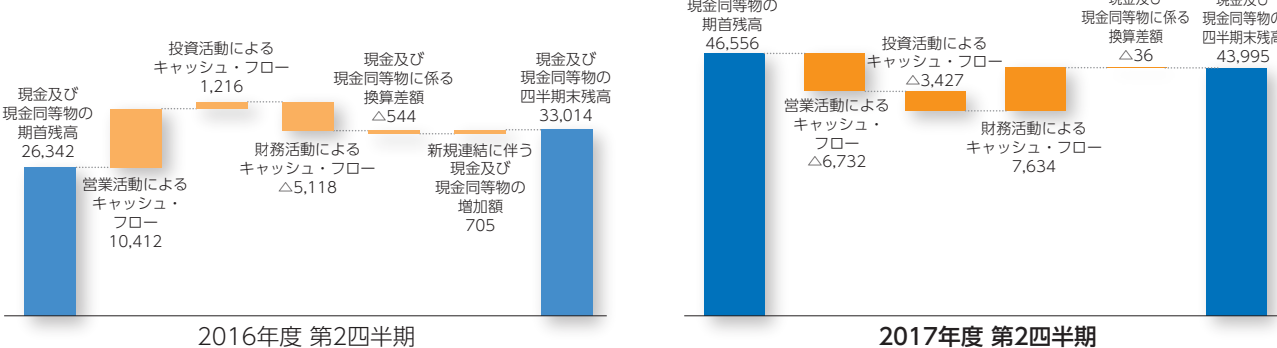
■ その他

売上高は前年同四半期を3.4%上回る1億03百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同四半期を13.5%上回る45百万円となりました。

資産、負債および純資産の状況 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)



POINT 1 総資産は、投資有価証券が時価上昇したことなどにより、前連結会計年度末に比べて40億39百万円増加し、2,387億55百万円となりました。

POINT 2 負債合計は、支払手形・工事未払金等が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて12億77百万円減少し、1,218億64百万円となりました。

POINT 3 純資産合計は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて53億17百万円増加し、1,168億91百万円となりました。

POINT 4 営業活動によるキャッシュ・フローは、67億32百万円の支出(前年同四半期は104億12百万円の収入)となりました。これは主に仕入債務の減少などの支出が、売上債権の減少などの収入を上回ったことによるものであります。

POINT 5 投資活動によるキャッシュ・フローは、34億27百万円の支出(前年同四半期は12億16百万円の収入)となりました。これは主に定期預金の預入による支出および有形及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

POINT 6 財務活動によるキャッシュ・フローは、76億34百万円の収入(前年同四半期は51億18百万円の支出)となりました。これは主に社債の発行による収入によるものであります。

会社概要

社 名
高砂熱学工業株式会社
Takasago Thermal Engineering Co., Ltd.

設 立
1923年11月16日

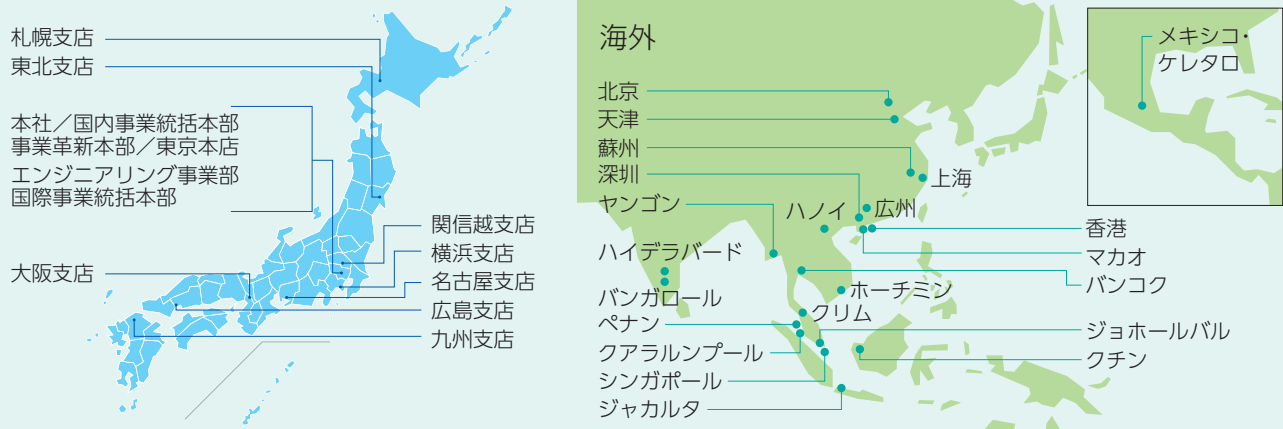
所 在 地
〒160-0022
東京都新宿区新宿六丁目27番30号

資 本 金
13,134百万円

従業員数
5,030名(当社 2,025名)

ホームページ
<https://www.tte-net.com>

主要な拠点



大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本生命保険(株)	4,560	6.17
第一生命保険(株)	4,231	5.72
高砂熱学従業員持株会	3,486	4.72
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,755	3.72
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	2,400	3.24
(株)三菱東京UFJ銀行	2,346	3.17
高砂共栄会	2,309	3.12
(株)みずほ銀行	2,177	2.94
野村信託銀行(株)(投信口)	1,205	1.63
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	1,164	1.57

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式(8,890千株)を控除して計算しております。
3. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会の議決権・期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

郵便物送付先 [お問い合わせ先]
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
取次事務は三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店で行っております。

単元株式数 100株

公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載 <https://www.tte-net.com>
ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

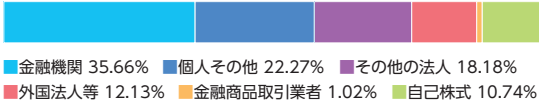
配当金計算書について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告の際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告の際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願い申し上げます。

株式の状況

発行可能株式総数 200,000,000株
発行済株式の総数 73,875,098株
(自己株式 8,890,670株を除く)
株主数 5,578名
(前事業年度末比 234名減)

所有者別株式分布



所有数別株式分布



株式に関するお問い合わせ

- ・届出住所等のご変更
- ・配当金の受領方法・振込先のご変更
- ・単元未満株式の買取のご請求

口座を開設されている証券会社まで
お問い合わせください。

- ・特別口座に関するご照会
- ・郵送物の発送と返戻に関するご照会
- ・支払期間経過後の配当金に関するご照会
- ・その他株式事務に関する一般的なご照会

三菱UFJ信託銀行株式会社

証券代行部まで

お問い合わせください。

☎ 0120-232-711

(平日午前9時～午後5時)

INFORMATION

IRフォーラム2017東京

個人投資家向けIR活動の一環として、2017年8月5日にコングレススクエア日本橋で開催された、「IRフォーラム2017東京」に出展しました。本イベントと、全国10万人の読者を持つIR情報誌「ジャパニーズインベスター」への情報掲載を通じて、多数の個人投資家に当社の取組を紹介することができました。



資料を請求いただいた皆様には、2017年8月発行の「TAKASAGO CORPORATE REPORT 2017」をお送りしています。当社ホームページのIRライブラリにも掲載されておりますので、ご興味のある方は是非ご覧ください。

ホームページのご紹介

当社は、ホームページを重要な情報発信ツールと認識しており、決算情報のみならず皆様のご理解に資すると判断した情報を、随時掲載しております。ぜひ、ご活用ください。



<https://www.tte-net.com>

高砂熱学



IRカレンダー



	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
決算発表		● 期末決算発表			● 第1四半期決算発表			● 第2四半期決算発表			● 第3四半期決算発表	
株主総会		● 招集通知発送			● 定時株主総会開催							
配当基準日							● 中間配当株主確定				● 期末配当株主確定	
有価証券報告書 四半期報告書					● 有価証券報告書発行							
					● 第1四半期報告書発行			● 第2四半期報告書発行			● 第3四半期報告書発行	
株主向け報告書					● 株主向け報告書(期末)発送			● 株主向け報告書(中間期)発送				
コーポレートレポート					● コーポレートレポート発行							



高砂熱学工業株式会社
Takasago Thermal Engineering Co., Ltd.

〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目27番30号
電話 03(6369)8212(代表)
<https://www.tte-net.com>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

